

# 千指導案

## 千一四小

青 梅 第 四 小 学 校  
授 業 改 善  
4 年

4月 26日(土) 1校時

### 文章の組み立てをとらえよう⑥

○意味段落に分けることができる、

本時のこだわり！！

- ・第2時に分けた「はじめ、中、おわり」は、実は違っていた！？  
中を「問—答え」に着目して3つに分け、文章構成の再検討をしたい。

	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
10	1. 段落の役割を振り返り、 問いと答えが複数あることを確かめる。 ・問いは赤、答えは青で上を塗る。 C: 両方3つずつある。 ・問いの答えがないとだめだから、 同じ数あるのは当たり前だよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">段落をセットにしよう。</div>	
10	2. 「問—答え」に着目し、意味段落に分ける。 C: 問いと答えが1セットになっている。 ・②～⑥が前半になっている。 T: ほかにセットは作れますか？ C: ⑦～⑨ ⑩～⑪ ・3つになった。	←前時で児童から出た意見。 手掛かりに、他にセットがないか確認する。
5	3. 意味段落ごとに、台紙に貼る。	○ヤドカリ寄りの台紙は寒色、 イソギンチャク寄りの台紙は暖色。
10	4. 「はじめ、中、終わり」を再構成する。 T: 前みんなは②③って「はじめ」って言ってたよね？ セットがはじめと中で分かれていいの？ C: まとまりじゃなくなっちゃう。 ・ってことは、はじめは①だけだ！	
5	5. 用語「意味段落」を知り、 意味段落がいくつあるか、数える。	○「はじめ、中1、中2、中3、終わり」 の、5つの意味段落に分かれる。
5	6. 中1の見出しを付ける。 T: 見出しを付けるとしたら？ C: ヤドカリがイソギンチャクを貝殻につける理由。	○選択肢を作り、見出しのイメージをつかむ。(次への見通し)

